あきらめない
人生＝たびの
お手伝い
～行けるところではなく
行きたいところへ～

ユニバーサル・サポートすわ
牛　山　玲　子（社会福祉士・介護福祉士）





牛山玲子　（ウシヤマ レイコ）1962年寅年

長野県伊那市生まれ　現在長野県茅野市在住　5人の孫のバーバァ　（別名：ユニばぁ）

★職歴 ★

医療から2000年より福祉・介護の社会福祉法人に勤務
有料老人ホーム特別養護老人ホーム 介護老人保健施設 養護老人ホームで相談員
ユニバーサル・サポートすわ 代表　ユニサポケアすわ（介護保険外サービス）代表

社会福祉士　介護福祉士　福祉用具専門相談員　長野県あいサポートメッセンジャー
信州おもてなしマイスター　茅野市玉川地区社協　信州ヘルプマークディレクター
地域づくりネットワーク協議会諏訪支部長　上諏訪温泉ユニバーサルツーリズムアドバイザー

■誰一人取り残す事のない観光地信州を、長野県が提唱する「ユニバーサルツーリズム」振興に協力し、障がい者、高齢要介護者など「旅弱者」をケアする人的サポートを実践する。
合理的配慮な「おもてなし」でハードとハートのバリアをフリーにできる信州を目指す。
■「行けるところではなく、行きたいところへ」「あきらめない旅＝人生のお手伝い」
をテーマに活動している。



「ユニサポすわ」とは

介護が必要な高齢の方と障がいを持つ方のための温泉入浴介助とちょっとしたお出かけや外出支援に看護師と介護福祉士など医療と介護の資格を持ったユニサポケアスタッフが夢をかなえます

生活でのお困りごと心配なことを介護保険外サービスで解決できるようにお手伝いします


ようこそ 上諏訪温泉へ
ようこそ 上諏訪温泉
水
霧ケ峰を源泉としたおいしいお水
湯
上諏訪温泉
上諏訪駅
湯
水
水


入口
上諏訪 温泉
わって のんびり
足湯
すあしで 湯ったり
出口





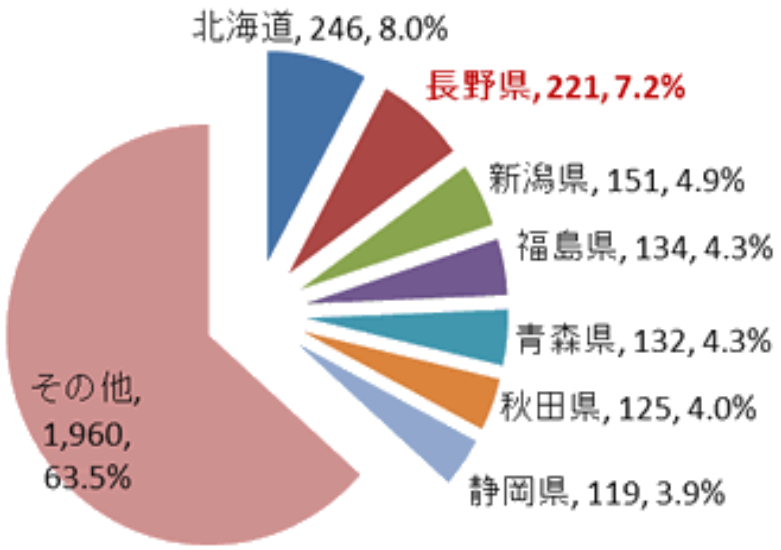



MARUMITSU
MARUMITSU
SEIKO

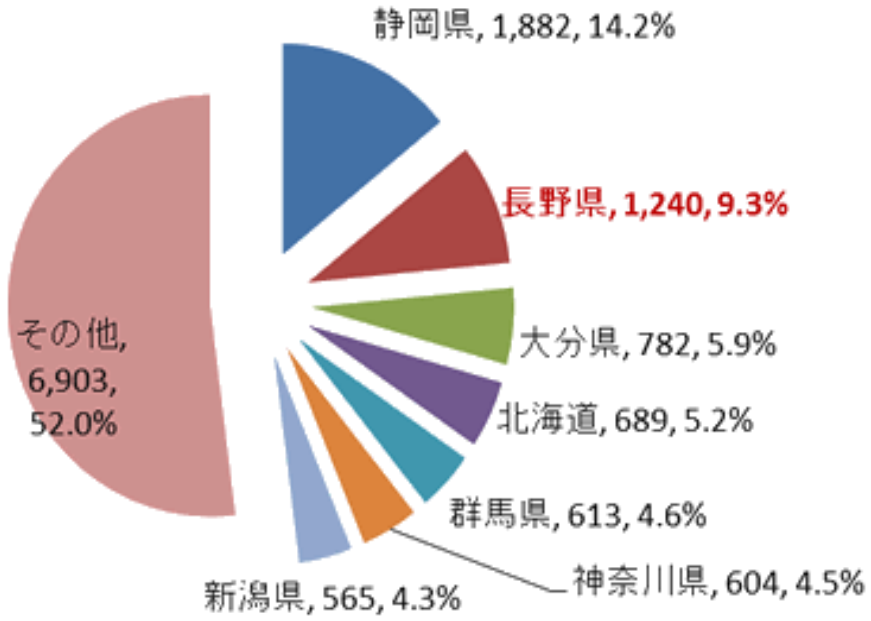
長野県内の温泉数

長野県には、本当に数多くの温泉地があります。長野県内に住んでいて、日帰り温泉巡りをしようと思っても、公共の日帰り温泉施設を制覇するだけで、何年もかかってしまいそうです。

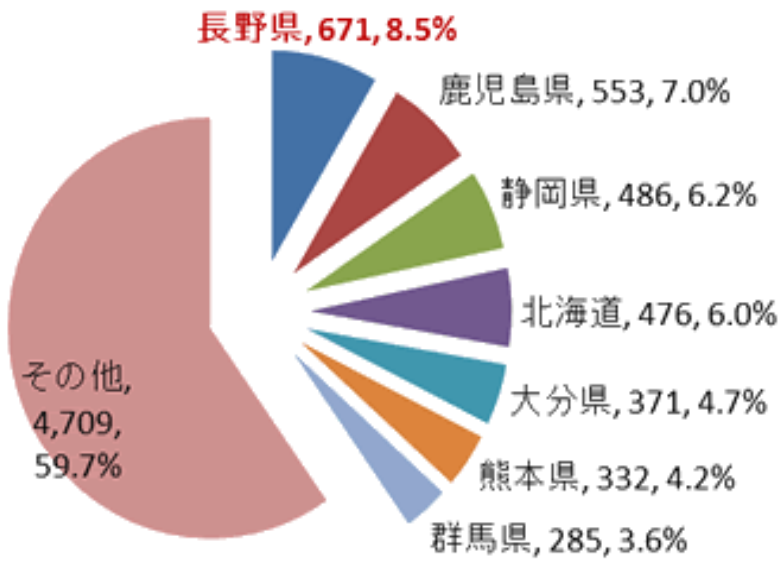
温泉地数



宿泊施設数



温泉利用の公衆浴場数





高齢者は温泉に行きたい



- 高齢の方の観光の一番の目的は**温泉**です。
- しかし**70代**になり身体が弱ってくると、
- **ひとりでの入浴**が困難になり、



- 温泉だけでなく**観光を控えてしまう**傾向があります。

- （年間平均国内宿泊旅行回数は
  60代の**1.41 回**から 70 代以上の**1.0回に減少**）



ユニサポすわ発足のきっかけ













プレゼンテーションのタイトル


プレゼンテーションのタイトル





酒蔵で日本酒を試飲する「リハビリ旅行」の参加者ら

リハビリ兼ね 諏訪地方巡って

東京からの4人 初のツアー

リハビリを兼ねて諏訪地方の旅を楽しむ「上諏訪温泉リハビリ旅行」の一行が1日、東京から1泊2日の日程で諏訪市を訪れた。「リハビリ旅行」を展開するリハビリ推進センター（東京）が、モニターツアーとして諏訪地方で初めて開催。客の反応を見て本格実施につなげるという。

同センターは昼神温泉（阿智村）など、温泉地を巡るリハビリ旅行を開催。障害者らが安心して旅行を楽しめる「ユニバーサルツーリズム」の普及を目指すユニサポすわ（茅野市）の提案で、諏訪地方のツアーを企画した。

この日、諏訪市のJR上諏訪駅に、歩行に不安があったり車いすに乗ったりしたツアー参加者4人が到着。同センターの看護師やユニサポすわの介護福祉士らの支援で同市の宮坂醸造を訪れた。日本酒を試飲した石毛久男さん（69）＝東京＝は「酒蔵の雰囲気もいいし、来てよかった」と満足そう。その後は諏訪湖畔のホテルで温泉を楽しんだ。

2日は富士見町の富士見高原リゾートを訪問する。ユニサポすわ代表の牛山玲子さん（55）は「これを機に、リハビリ中の人も来たくなるような諏訪にしたい」と話した。


















OUTDOOR
PRODUCTS







できない理由を考えるより
どうやったらできるかを考える

『1人の困りごとは、
いつかみんなのためになる』



「諦めない人生（たび）のお手伝い」

～できることではなく、やりたいことを～

安心で楽しい外出支援・安全なケアサービスをご提供いたします

介護が必要な高齢の方と障がいを持つ方のための温泉入浴介助とちょっとしたおでかけや外出支援に看護師や介護福祉士など医療と介護の資格を持ったユニサポケアスタッフを現地に派遣し夢をかなえます※自費サービスで対応いたします



温泉入浴介助



ユニサポケアナース



外出支援



温泉入浴介助

信州ユニバーサルツーリズム
SHINSYU UNIVERSAL TOURISM



信州あいサポーター
心のバリアフリー研修





結婚式の介助



自分らしく幸せに過ごすための“快適期間”人生において幸せを感じていられる期間を「幸福寿命」と言います！！幸せと感じることが長く生きるための秘訣です♡

＊諦めてしまう前に一度ご相談下さい＊

任意団体 ユニバーサル・サポートすわ

◆お問い合わせ◆ 事務局：長野県茅野市玉川 11048-1

090-3558-4502 0266-79-5562

yunisaposuwa@gmail.com



check！

https://www.facebook.com/yunisaposuwa

ユニサポケアサービス基本介助料（参考自費料金）

お客様の身体状態	サービス内容	セットプラン 1日（実働8時間）	セットプラン 半日（実働4時間）	スポットプラン 1時間
軽度：自立～要支援程度	見守り・外出援助・観光同行	28,000円	15,000円	4,000円
中①：要介護度１及び２程度	見守り・介護全般・外出支援 観光同行※夜間対応要相談	32,000円	18,000円	5,000円
中②：要介護度3及び4程度		36,000円	20,000円	6,000円
重度：要介護度５程度	見守り・介護全般・外出支援 観光同行※夜間対応要相談	40,000円	24,000円	7,000円

入浴介助プラン 外出プランにプラス６０分専門職１名（基本）
身体状況や病状により看護師や介護福祉士などの増員提案をさせていただく場合があります。要相談（別途料金をいただきます）

軽度：自立～要支援程度	10,000円/60分
中①：要介護度１及び２程度	12,000円/60分
中②：要介護度3及び4程度	15,000円/60分
重度：要介護度５程度	18,000円/60分

◆基本料金に基づきサポート環境や必要に応じた介助内容によりお見積もりをいたします。時間単位でのご利用の場合は、可能な限り1回2時間以上のご利用でお願いします。安全確保の為や時間超過による延長料金やオプション料金の加算が発生いたします。当社の規定により、別料金を申し受ける場合がございます。
◆入浴介助は身体状況や病状によりスタッフの増員をお願いする場合があります。別途料金をいただきます。

諏訪地域限定 ♨温泉旅行をあきらめない♨

◆温泉入浴介助サービス入浴介助サポーターは安心安全の２名で対応
◆医療と介護の有資格者がサポートいたします
◆１回６０分
※入浴介助のみのサービスです

16,500円（税別）より

諏訪の国 認定
『湯にばーさる』

ユニバーサルサービスお申込みについて

●お客様からのお問合せ
電話・ＦＡＸ・メールなどでお問合せ下さい ★表面に連絡先の記載がございますご確認下さい

●ご案内・ご説明
介護福祉士・社会福祉士の女性スタッフがお話をお伺いいたします



●日程と身体状況を聞き取りさせていただきます
身体状況により対応スタッフの増員や看護師の手配を検討します

●内容確認・サポート料のご案内
身体状況説明及び聞き取りを精査し、当団体での受託可否を検討いたします

●ご利用内容の確認・ご利用代金等の確定・手配
サポートさせて頂くスタッフのプロフィールなどを当団体からご連絡いたします

●ご利用当日♡サービスの実施♡
ご希望に沿った思い出や夢を叶えるお手伝いをいたします

観光×温泉×医療×介護

旅はいつかきっと、いい想い出になる。

病気やケガなどで、体力や運動機能が低下して介護が必要になっても、いつまでも旅や外出を楽しんでいただきたい。旅先でのちょっとしたサポートで、旅をもっと安全・快適なものにしたい。ご家族の負担を減らしたり、おひとり様でも気軽に出掛けられるお手伝いができれば、もっともっとたくさんの想い出づくりや、生きる楽しみを実感して頂けます。地域トラベルサポーターの取り組みが、介護旅行やバリアフリー旅行の更なる発展に貢献できると考えています。

旅はいつかきっと、いい想い出になるから。







幸福寿命

自分らしく幸せに過ごすために

人生において

幸せを感じていられる期間を

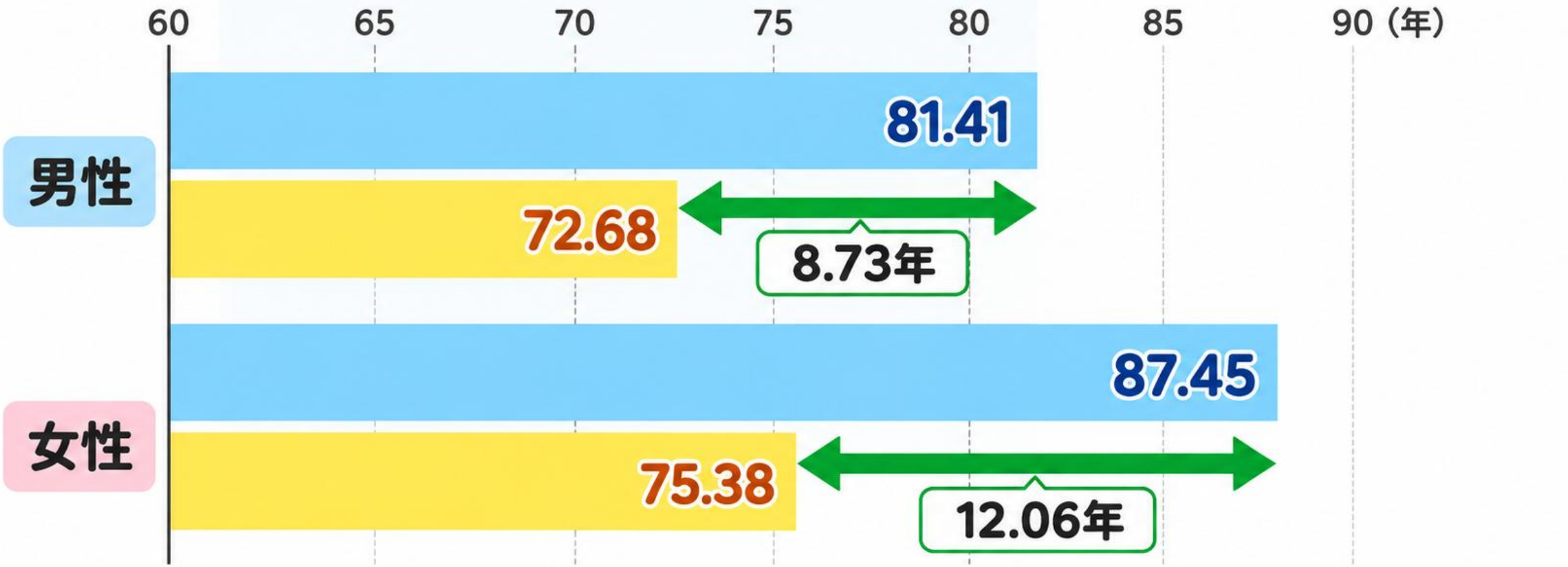
「幸福寿命」といいます

人生とは人が生きていく力のもとになる





平均寿命と健康寿命の差（不健康な期間）



平均寿命　健康寿命（日常生活に制限のない期間の平均）　平均寿命と健康寿命の差（不健康な期間）

厚生労働省　https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/hale/h-01-002.html

普段の

「ふだん」の



いつもの
日常の
くらし

暮らしの

「くらし」の



幸せ

「しあわせ」



安心して
幸せに
暮らせること

普段の
くらしの中で

「ふ く し」

福 祉

みんなが
安心して幸せに
暮らせること

合理的配慮でまちを豊かに
―ユニバーサルツーリズムが拓く地域の未来―

ユニバーサルツーリズムとは

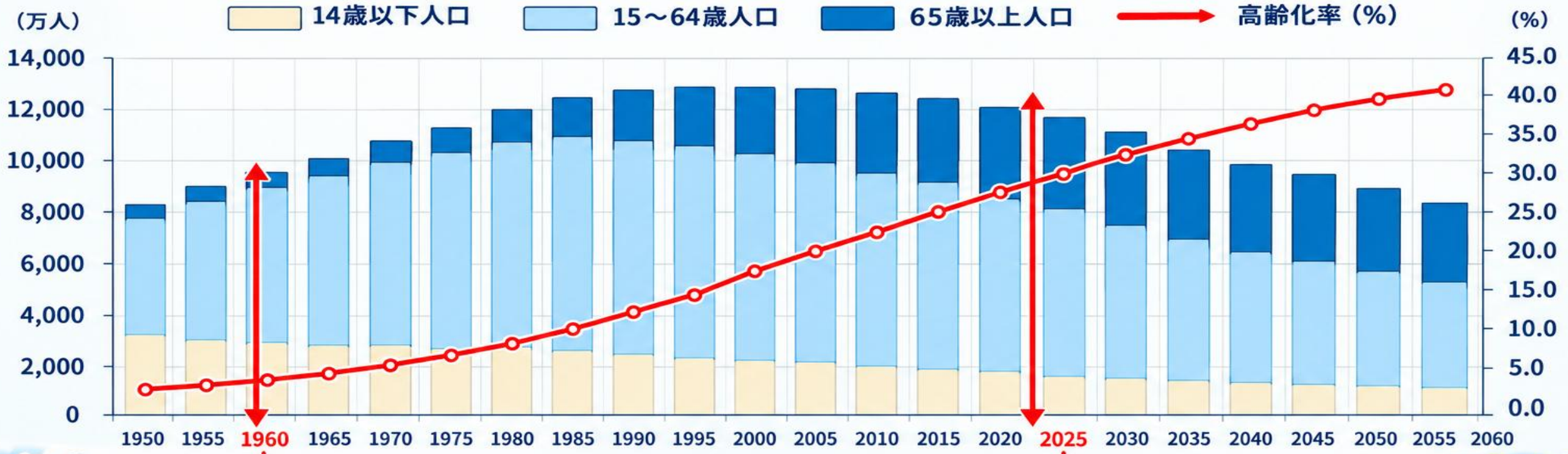
ユニバーサルツーリズムとは、
高齢や**障がい等の有無にかかわらず、**-**すべての人**が**安心して楽しめる旅行**を指します。

ユニバーサルツーリズムを推進するため、
地方自治体やNPO等の幅広い関係者の協力のもと、
地域の受入環境・体制の整備・強化や、
旅行商品の造成・普及のための取組を支援します。



1960年代はバリアフリーの考えがなかった

1960年代の65歳以上の割合は6%程度





高齢化率：**5.7%**（1960年）

1964年
東京オリンピック
障害者スポーツ大会
（愛称：パラリンピック）

高齢化率：**29.4%**（2025年）

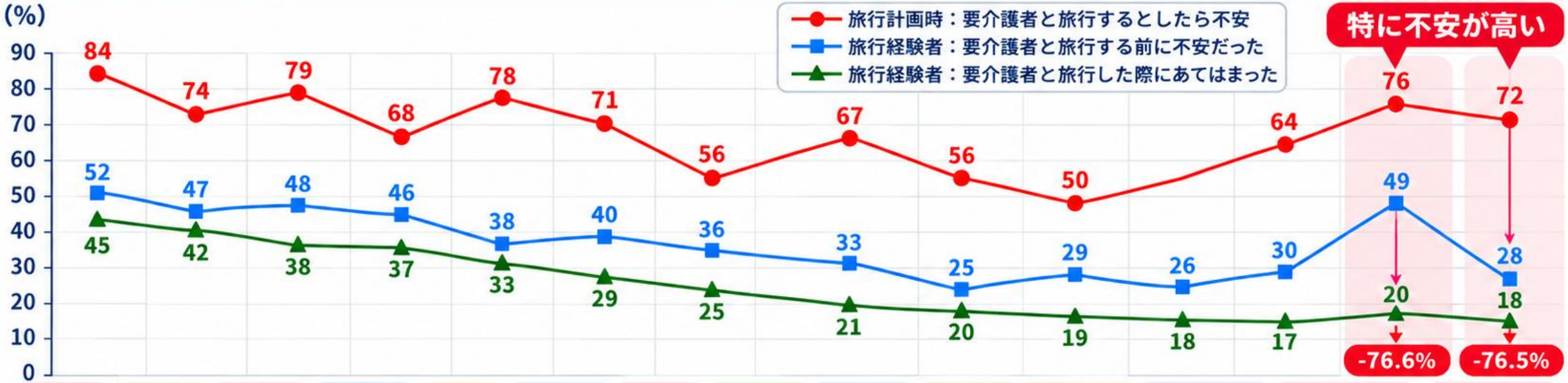
2021年
東京オリンピック・
パラリンピック競技大会



出典：内閣府「令和3年版高齢社会白書」より JTB総合研究所作成（グラフは概数）

要介護者との旅行に対する不安、旅行時の困難

入浴や移動、トイレには高い不安





第一生命研究所「要介護者の旅行の実態に関する意識調査」

旅行に必要な要素

あご
食事



あし
交通



まくら
宿泊



＋



お客様のニーズを捉え
サービスを提供



↓

合理的配慮 ＝ 高付加価値

医療行為などや介助行為は合理的配慮の対象外

- 障害者差別解消法では、観光関連事業者に**「加重な負担」**まで求められていない
- 医療行為など実施に当たって高度な専門知識や法令上の資格が必要とされる行為、食事・排泄等の介助行為などは合理的配慮の対象外
- 但し、どこまでできるかの**建設的対話は必要**





ユニサポケアサポーター…「地域を元気にするしくみ+医療福祉人材が高付加価値に」

❶ 旅行に行きたい！でも不安が…



❷ まずは相談！



❸ みんなで計画！



❹ いよいよ旅行へ！



❺ 旅行を満喫！



ユニサポすわ（トラベルケアサポーター）

T/Sの任意資格 ＋ 医療資格 介護資格



❻ 提供するサポート



❼ 地域全体で支えるしくみ

依頼・相談

- 個人
- ホテル・旅館
- 観光案内所
- ケアマネジャー
- 病院
- 福祉施設関係者　など



連携

- 市役所
- 観光業
- 温泉旅館組合
- 商工会議所
- 観光協会　など



発地⇒着地



地域の力をつなぎ
旅行を支えます

介護職 80%



地域のあたたかい
つながりで、これからも
笑顔の旅を支えます！

専門職のサポート

- 看護師・介護福祉士
- ケアマネ・柔道整復師
- 温泉療法医・旅行医
- 理学療法士・作業療法士
- 介護初任者研修修了　など



「旅行・人生のお手伝い」…あなたは名脇役!!

1 生活支援サービスの充実

とりわけ**幸せになる**支援サービスが必要



2 ユニサポおもてなしケアサポーター

生活支援コーディネーターの役割



3 医療・福祉従事者の人材不足

楽しみが共有できる働き方改革



4 「居場所と出番」のきっかけづくりへ参加



ユニバーサルツーリズムを医療と介護が支える意味



「行ける場所」ではなく、「行きたい場所へ行ける」社会をつくること。

ユニバーサルツーリズムは、障がいの有無や年齢にかかわらず、
誰もが安心して旅行を楽しめることを目指します。
その実現には、施設のバリアフリー化だけでなく、
医療と介護の専門性を活かした「人によるサポート」が大切です。

医療と介護が支える5つの意味

1 安心・安全を支える

持病や身体状況、
体調の変化に配慮し、
旅行中の健康管理や
緊急時の対応に
つなげます。



2 「できない」を「できる」に近づける

移動、食事、排泄、入浴など
を必要に応じて支援し、
旅行をあきらめずに済む
選択肢を増やします。



3 本人の尊厳と希望を守る

「危ないからやめましょう」
だけではなく、
「どうすれば安全に
実現できるか」を
本人と一緒に考えます。



4 家族や介護者の負担を軽減する

専門職の支援によって、
家族も介助だけに追われず、
一緒に旅行を楽しむ
時間を持てます。



5 観光と地域福祉をつなぐ

医療・介護・福祉・
宿泊施設・観光事業者が
連携することで、
地域全体で旅行者を
迎える仕組みをつくります。



**医療と介護が支えることで、行きたい場所へ行ける喜びが、
人生の生きがいにつながり、誰もが参加できる豊かな地域社会をつくります。**

**一人の人の困りごとは、
みんなの為にもなる**

ユニバーサルツーリズムを医療と介護が支える意味



「行ける場所」ではなく、「行きたい場所へ行ける」社会をつくること。

ユニバーサルツーリズムは、障がいの有無や年齢にかかわらず、誰もが安心して旅行を楽しめることを目指します。
その実現には、施設のバリアフリー化だけでなく、**医療と介護の専門性を活かした「人によるサポート」**が大切です。

医療と介護が支える5つの意味

項目	内容	具体的な支援の例
1 安心・安全を支える	持病や身体状況、体調の変化に配慮し、旅行中の健康管理や緊急時の対応につなげます。	医療スタッフの同行、服薬管理、緊急時の医療機関との連携　など
2 「できない」を「できる」に近づける	移動、食事、排泄、入浴などを必要に応じて支援し、旅行をあきらめずに済む選択肢を増やします。	車いすでの移動支援、食事介助、入浴介助、トイレ介助　など
3 本人の尊厳と希望を守る	「危ないからやめましょう」だけではなく、「どうすれば安全に実現できるか」を本人と一緒に考えます。	本人の意思確認、個別のプラン作成、インフォームドコンセント　など
4 家族や介護者の負担を軽減する	専門職の支援によって、家族も介助だけに追われず、一緒に旅行を楽しむ時間を持てます。	介護スタッフのサポート、レスパイト、情報提供　など
5 観光と地域福祉をつなぐ	医療・介護・福祉・宿泊施設・観光事業者が連携することで、地域全体で旅行者を迎える仕組みをつくります。	バリアフリー宿泊施設、観光ガイド、地域の見守り体制　など







ユニサポすわの活動に置き換えると…

温泉入浴介助「湯にばーさる」

身体の状態に合わせた介助で、あきらめていた温泉を再び楽しむ機会をつくります。



お出かけサポート

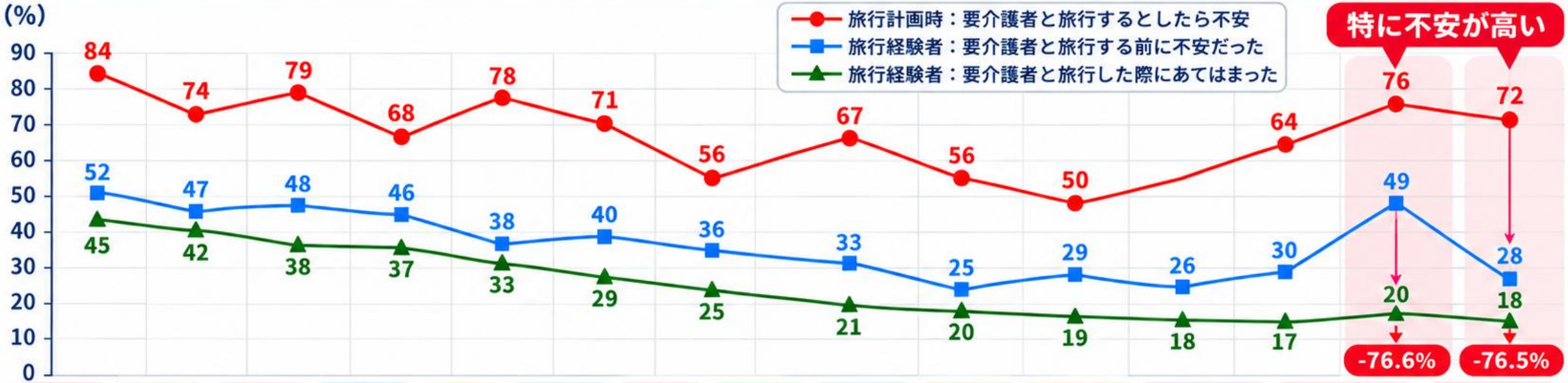
移動や外出の不安を減らし、本人の「行きたい」という思いを実現につなげます。



医療と介護が
観光につながることで、
誰もが、いつまでも
旅を楽しめる社会を。

要介護者との旅行に対する不安、旅行時の困難

入浴や移動、トイレには高い不安





出典：2012年　第一生命研究所「要介護者の旅行の実態に関する意識調査」

1 バリア（障壁）って何？

多様な人がいることを
考慮しない社会によって
作り出されたものです。



2 バリアはどこにある？

多様な人のことを考えると
日常のさまざまな場面で
「バリア」が見えてきます。



1 物理的なバリア

建物や設備など
物理的なつくりによる
バリアです。



例
- 段差・階段
- 狭い通路・トイレ
- エレベーターがない　など

**移動や利用を困難にする
バリアです**

2 制度的なバリア

法律・制度・ルールなど
社会の仕組みによる
バリアです。



例
- 利用の年齢制限
- サービスの対象外
- 複雑な申請手続き　など

**必要なサービスを受けること
を難しくするバリアです**

3 文化・情報面でのバリア

言葉・コミュニケーション・
情報の伝え方による
バリアです。



例
- 専門用語が多い案内
- 外国語のみの表示
- 音声・文字情報がない　など

**必要な情報が伝わりにくい
バリアです**

4 意識上のバリア

偏見・思い込み・無理解
など、人の心の中にある
バリアです。



例
- 偏見や差別的な見方
- 「助けてあげるべき」という
  一方的な考え
- 能力を正しく理解しない　など

**人の可能性をせばめてしまう
バリアです**

観光施設における心のバリアフリー認定制度　認定施設一覧（北陸信越）

令和８年１月31日現在

認定施設総数　350　件

◆宿泊施設　　認定施設数　328　件

認定番号	施設名称	所在地
観心認定第HRT00001A号	八峯苑鹿の湯	長野県諏訪郡富士見町境120637
観心認定第HRT00002A号	ホテル玉之湯	長野県松本市浅間温泉1-28-16
観心認定第HRT00003A号	ANAクラウンプラザホテル金沢	石川県金沢市昭和町１６－３
観心認定第HRT00004A号	法師旅館	石川県小松市粟津町ワ-46
観心認定第HRT00005A号	ゆのくに天祥	石川県加賀市山代温泉19-49-1
観心認定第HRT00007A号	まつさき	石川県能美市辰口町3-1
観心認定第HRT00009A号	加賀屋	石川県七尾市和倉町ヨ部８０番地
観心認定第HRT00010A号	茶寮の宿　あえの風	石川県七尾市和倉町和歌崎8-1
観心認定第HRT00011A号	虹と海	石川県七尾市和倉町ヨ部96番地
観心認定第HRT00013A号	ホテル太閤	新潟県妙高市大字赤倉402番地
観心認定第HRT00014A号	シルクホテルアネックス	長野県飯田市錦町1-1
観心認定第HRT00015A号	シルクホテル	長野県飯田市錦町1-10
観心認定第HRT00016A号	吉田屋　山王閣	石川県加賀市山代温泉１３の１
観心認定第HRT00018A号	萃sui-諏訪湖	長野県諏訪市湖岸通り2-5-27
観心認定第HRT00019A号	蓼科親湯温泉	長野県茅野市北山4035
観心認定第HRT00020A号	上諏訪温泉しんゆ	長野県諏訪市湖岸通り2-6-30
観心認定第HRT00021A号	ryugon	新潟県南魚沼市坂戸１－６
観心認定第HRT00022A号	ホテル紅や	長野県諏訪市湖岸通り2-7-21
観心認定第HRT00023A号	蓼科東急ホテル	長野県茅野市北山字鹿山4026-2
観心認定第HRT00025A号	東急ハーヴェストクラブ旧軽井沢	長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢1178-493
観心認定第HRT00026A号	東急ハーヴェストクラブ蓼科アネックス	長野県茅野市北山字鹿山4026-2
観心認定第HRT00027A号	東急ハーヴェストクラブ軽井沢&VIALA	長野県北佐久郡軽井沢町長倉291-1
観心認定第HRT00028A号	株式会社明神館	長野県松本市入山辺８９６７番地
観心認定第HRT00030A号	KYUKARUIZAWA KIKYO , Curio collection by Hilton	長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢491-5
観心認定第HRT00031A号	東急ステイ金沢	石川県金沢市南町4-50
観心認定第HRT00034A号	コンフォートホテル新潟駅前	新潟県新潟市中央区弁天3丁目3-1
観心認定第HRT00035A号	コンフォートイン新潟亀田	新潟県新潟市江南区東早通2丁目1-11
観心認定第HRT00036A号	コンフォートホテル燕三条	新潟県三条市須頃2丁目115
観心認定第HRT00037A号	コンフォートホテル富山駅前	富山県富山市宝町1丁目3-2
観心認定第HRT00039A号	ラコ華乃井ホテル	長野県諏訪市高鳥２－１２００－３

長野日報

心のバリアフリー認定

諏訪地方の宿泊施設が県内最多

ユニバーサルデザイン導入進む



近年、旅行のスタイルが団体から個人・家族へと小規模化するにつれて、諏訪地方のホテル、旅館で、高齢者や障がい者にも快適な宿泊を提供する「ユニバーサルデザイン」を採り入れる動きが進んでいる。新型コロナウイルスの感染拡大で旅行客の小グループ化と減少が急速に進み、集客力の強化は喫緊の課題。国のコロナ対策補助金が施設改修を後押しし、観光庁が定める「心のバリアフリー制度」の認定を受けるホテル、旅館が県内で最多となっている。（日比野真由美）

同制度は2020年12月にスタート。宿泊施設、飲食店、観光案内所を対象に、▽施設のバリアフリー化の工夫▽組織内での教育訓練▽インターネット上での施設のバリアフリー情報の積極発信―の実施基準をすべて満たす施設を認定する。

県内の認定宿泊施設は15軒（4月現在）。うち諏訪地方は7軒で約半数を占める。第1号は富士見高原リゾート八峯苑鹿の湯（富士見町）で、昨年9月に取得した。県が推進する「ユニバーサルツーリズム（福祉観光）」もけん引している。

今春は新たにホテル紅や（諏訪市）、親湯温泉（茅野市）が経営する3施設、蓼科東急ホテル（同市）などが認定された。諏訪市観光案内所やは20年冬から改装に着手。客室16室をバリアフリー化し、車いす利用者対応の貸し切り露天風呂を整備。地元の福祉サービス団体「ユニバーサル・サポートすわ」と提携し、宿泊客の希望に応じて入浴や外出を介助する体制も整えた。

親湯温泉は世界的な持続可能な開発目標・SDGsの実践として取り組みに注力。中でも上諏訪温泉しんゆは今年も3月、県内で唯一の認定案内所になった。ホテル紅と親湯温泉マーケティングチームの今井さおりさん。ホテル紅や営業部の清水孝弘支配人は「コロナ禍で集客は落ち込んだが、おかげで大掛かりな改修、今後に向けた準備ができた」と話し、高齢者や障がい者からの問い合わせやリピート利用に手応えを感じている。



リピート客もついたホテル紅やのユニバーサルデザイン温泉

3施設で認定を受けた親湯温泉

諏訪市観光案内所

令和4年4月22日(金)

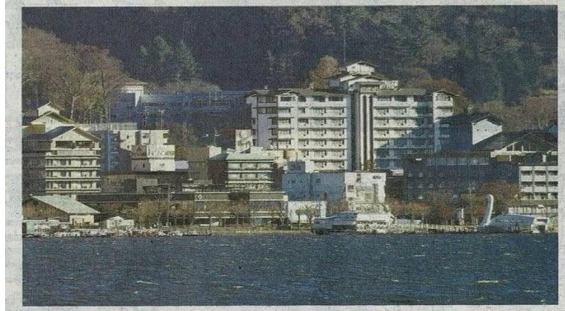
度、事業費約1億8000万円を投じて客室8室をユニバーサルデザインにし、露天風呂の一つを車いす利用者対応にするなど大規模改修に着手。8月の販売開始を目指している。

「障がいや高齢を理由に旅をできない人は依然多く、潜在的なニーズはとても多い」

長野日報　第41229号　（昭和21年2月19日第三種郵便物認可）

「官民一体」県内でも最上位に

「にっぽんの温泉100選」 上諏訪温泉 過去最高24位



にっぽんの温泉100選で過去最高の24位となった上諏訪温泉

旅行会社やオンライン旅行代理店、鉄道・航空会社など観光業関係者の投票で決める第39回「にっぽんの温泉100選」（観光経済新聞社主催）で、上諏訪温泉が過去最高の24位となった。これまでの最高順位だった2022年の36位を上回り、前年の43位から大きくランクアップ。26位の昼神温泉を抑えて県内最上位となった。諏訪湖温泉旅館組合（加盟19施設、諏訪市）の伊東克幸理事長（63）は「望外の結果で驚いたが、官民一体となって一枚岩で同じ方向に進んだ結果だと受け止めたい」と喜びを口にする。（杉本哲也）

組合は22年度から観光庁の支援を受けて、障がいの有無にかかわらず誰もが快適に過ごせるユニバーサルツーリズムを推進。各施設でバリアフリー化や客室改装を図ってきたほか、訪問介護事業所「ユニバーサル・サポートすわ」（茅野市）と連携して温泉の入浴介助サービスなどにも取り組む。並行して団体から個人へとシフトしてきた旅行形態に合わせ、部屋数を減らしてグレードを上げる高付加価値化も進めてきた。

伊東理事長はこうした取り組みが実を結んだとみる。実際に上諏訪温泉の過去10年間の順位＝表＝を見ると、16年は91位だったものの17、18年は圏外。その後は、今年を含めて7年連続でランクインしており、19～21年は70位台後半～80位台にとどまったが、22年に躍進して以降はトップ50以内に選ばれている。

官民一体となって進める諏訪湖を生かしたまちづくりの効果も大きい。湖畔では県と湖周3市町が連携して整備した「諏訪湖サイクリングロード」が昨春、全線開通。カヤック体験などの湖上アクティビティーやレンタサイクルも充実してきた。今夏には岡谷市と諏訪市にまたがる中央道・諏訪湖スマートインターチェンジが開通。今後はさらなる需要増加も期待される。

伊東理事長は「今回の結果は、行政や観光協会、加盟施設が一丸となって取り組んだからこそ。特にコロナ禍で観光が大打撃を受けた時期には本当にご苦労いただいた」と感謝。その上で「お客さまあっての商売。慢心せず、より魅力的な温泉観光地を目指していきたい」としている。

にっぽんの温泉100選と同時開催された「人気温泉旅館ホテル250選」では、上諏訪温泉から浜の湯とホテル紅や、しんゆ、ぬのはんの県内最多4施設が選ばれた。

にっぽんの温泉100選

2016年	91位
17年	圏外
18年	圏外
19年	77位
20年	84位
21年	79位
22年	36位
23年	47位
24年	43位
25年	24位

上諏訪温泉 過去10年間の順位

長野日報R7年12月20日掲載

第39回「にっぽんの温泉100選」

投票結果　全ランキング

1位　草津温泉（群馬県）



2位　下呂温泉（岐阜県）



3位　道後温泉（愛媛県）



順位	動き	前回	温泉地	都道府県
1	—	1	草津	群馬
2	↑	3	下呂	岐阜
3	↓	2	道後	愛媛
4	—	4	別府八湯	大分
5	↑	6	登別	北海道
6	↓	5	有馬	兵庫
7	↑	23	あわら	福井
8	↓	7	指宿	鹿児島
9	—	9	城崎	兵庫
10	↓	8	黒川	熊本
11	↓	10	箱根	神奈川
12	↓	11	由布院	大分
13	—	13	和倉	石川
14	↑	25	山代	石川
15	↓	14	熱海	静岡
16	—	16	玉造	島根
17	↑	18	月岡	新潟
18	↓	12	伊香保	群馬
19	↑	39	山中	石川
	↓	15	奥飛騨温泉郷	岐阜
21	↑	26	嬉野	佐賀
22	↓	17	銀山	山形
23	↓	19	乳頭温泉郷	秋田
24	↑	43	上諏訪	長野
	↑	69	こんぴら温泉郷	香川
26	↑	28	秋保	宮城
	↑	27	草津	長野
28	↑	41	宇奈月	富山
29	↓	20	鬼怒川・川治	栃木
30	↑	45	長門湯本	山口
31	↑	43	飛騨高山	岐阜
32	↑	45	醍ヶ湯	青森
	↓	28	霧島	鹿児島
34	↑	39	平磯	北海道
35	↓	31	鳴子温泉郷	宮城
36	↓	22	十勝川	北海道
37	↓	24	万座	群馬
38	↓	21	蔵王	山形
	↓	37	南紀白浜	和歌山
40	↓	32	白骨	長野
41	↓	32	四万	群馬
42	↓	49	花巻温泉郷	岩手
	↓	35	湯田中渋温泉郷	長野
44	↓	42	雲仙	長崎
45	—	45	修善寺	静岡
46	↓	37	定山渓	北海道
	↑	52	阿寒湖	北海道
48	↓	36	湯の川	北海道
49	↑	54	稲取	静岡
50	↑	57	岩畑	福島
	↑	74	湯西川	栃木
52	↓	49	石和	山梨
53	↑	85	祖谷・新祖谷	徳島
54	↓	32	みなかみ18湯	群馬
	↑	94	別所	長野
56	↓	53	湯河原	神奈川
	↓	45	野沢	長野
	↓	30	三朝	鳥取
59	↓	56	層雲峡	北海道
60	↑	68	那須	栃木
	↑	66	皆生	鳥取
	↑	69	玉川	秋田
62	↓	51	長良川	岐阜
	↑	66	伊東	静岡
65	↑	89	河口湖	山梨
66	↑	83	鳥羽温泉郷	三重
67	↓	59	洞爺湖	北海道
	↑	69	高湯	福島
	↑		奥日田	大分
70	↓	62	観音	静岡
71	↑	80	芦ノ牧	福島
72	↓	55	川湯	北海道
	↓	58	ウトロ	北海道
	↑	76	黄金崎不老ふ死	青森
	↑	59	越後湯沢	新潟
	↓	62	松之山	新潟
	↓	62	人吉	熊本
78	↓	76	おごと	滋賀
79	↑	85	洲本	兵庫
80	↑		飯坂	福島
	↑	89	長島	三重
	↑	76	湯村	兵庫
83	↑	94	つな	岩手
	↓	80	下田	静岡
	↓	85	南紀勝浦	和歌山
86	↓	75	金太郎	富山
88	↑		浜名湖かんざんじ	静岡
	↓	83	ニセコ温泉郷	北海道
	↑		松島	宮城
	↓	85	日光湯元	栃木
	↑	89	層	長野
92	↑	100	作並	宮城
	↓	80	あつみ	山形
	↓	72	東山	福島
95	↑		湯田	山口
	↓	62	山鹿・平山	熊本
	↓	76	阿蘇温泉郷	熊本
98	↓	59	かみのやま	山形
	↓	73	塩原	栃木
100	↑		日光	栃木

「にっぽんの温泉100選」主な順位の変動

あわら（福井県）が7位

北陸勢　軒並み上昇

上諏訪、こんぴらランクアップ





建築が魅力的な温泉旅館ホテル10選

「にっぽんの温泉100選」「人気温泉旅館ホテル250選」では、毎年度の企画として、旅行会社やOTAを対象に、テーマにふさわしい旅館・ホテルや温泉地を投票してもらっている。2025年度のテーマは「建築が魅力的な温泉旅館ホテル」。文化財に登録されている名建築や近現代、有名建築家が手掛けた建物、人気映画の舞台となった所から個性的な建物、施設の充実ぶりが際立つ旅館など、さまざまな視点から選ばれたトップ10施設を下記の通り「10選」として紹介する。

文化財、伝統、有名建築家、映画の世界観

【投票者のコメントを一部紹介】

星のや軽井沢（長野県・浅間温泉）
- 一部の建物が国の登録有形文化財で宝物館巡りができる
- 名前の通り静かな星空も感じる建物

箱根強羅ホテル（神奈川県・箱根温泉郷）
- 建築家、竹心苑氏の手掛けた「和館」に魅了される
- 日本ならではの「和」と現代的な「美」が共存する

富士屋ホテル（神奈川県・箱根温泉郷）
- 外国建築と和風旅館の融合が素敵
- 歴史深い格調高いクラシックホテルで魅力的

湯宿 紙（愛媛県・道後温泉）
- 現代を代表する建築家、黒川雅之氏が手掛けた旅館
- コンクリート打ちっぱなしの外観が特徴的

由布院 玉の湯（大分県・由布院温泉）
- 木の温もりや、自然を感じられ、土着性とマッチしている

大川荘（福島県・芦ノ牧温泉）
- 人気アニメの舞台にも出ている往時を偲ばせる昭和建築が魅力的
- エントランスの吹き抜けと、三味線を弾く舞妓の絵、高天風呂が素晴らしい

水明館（岐阜県・下呂温泉）
- 本館約7万坪の庭園が美しい
- 和洋など数々の客室も、設備が素晴らしい

八幡屋（福島県・岳温泉）
- 建物の贅沢さと露天風呂のスケール
- ロビーラウンジの雰囲気は圧巻

SHIKI HOTEL 別邸 TERRASSE（仙台市・秋保町）
- 川沿いの景観に本当のおしゃれな建築で魅力的
- 水辺に浮かぶ建物のデザインが素晴らしい



ユニバーサルツーリズムで地域の防災力強化

地域づくりネット県協議会 諏訪支部がパネル討論会



自身の経験を基にユニバーサルツーリズムを手段とした地域の防災力強化の取り組みを紹介する鞍本長利さん（左）と中村敏講師（左から2人目）

地域づくりネットワーク県協議会諏訪支部（牛山玲子支部長）は21日、観光地の防災を考える講演会とパネルディスカッションを茅野市民活動センター「ゆいわーく茅野」で開いた。約30人が参加。身体的な不安の有無にかかわらず誰もが楽しめる旅「ユニバーサルツーリズム（UT）」に対応した地域づくりが、観光だけでなく防災にもつながる視点が伝えられた。

日本防災士会県支部の宇佐美智也事務局長の講演に続き、パネルディスカッションを行った。宇佐美局長、神戸ユニバーサルツーリズムセンターシニアアドバイザーの鞍本長利さん、山陽学園大学（岡山市）地域マネジメント学科講師の中村敏さんがパネリストを務めた。

中村さんはUTへの対応が災害時にも役立つ具体例として、神戸ユニバーサルツーリズムセンターを紹介した。同センターの原点は阪神淡路大震災にある。障がいのある子を持つ鞍本さんは震災で自宅が全壊し避難所に身を寄せたが、生活に配慮が必要な人を受け入れる環境がなかった。そこで別の施設の一部を避難所として開設してもらえるよう働き掛け、提供された部屋で障がいのある避難者と支援者を受け入れ、144日間ともに生活した。互いに支え合う避難生活は介護する人、される人の壁をなくした。

鞍本さんはUTと防災の関係について、参加者が減少傾向にあった祭りを例に挙げた。人口減と思われていた参加者減の原因を探っていくと、移動手段や車いす対応のトイレの不備、お好み焼きなどの屋台食ばかりで流動食がないといった課題が浮かび上がった。誰もが楽しめるように改善したところ参加者が増えたといい「これこそがユニバーサルツーリズムであり、災害時に必要な配慮」と語った。

東日本大震災直後の都内では鉄道が全線連休し、数時間かけて自宅まで歩いた人の困りごとで多かったのが「水、トイレ、食べ物」だったが、鞍本さんは「これらは障がい者が日常的に困っていること。障がい者が暮らしやすい地域は災害に強い」とした。（野村知秀）

2024年12月22日(日) 長野日報 掲載







防災バリアフリー化注力

ユニバーサルツーリズム

紅や 初の車いす使用想定訓練

諏訪市湖岸通り2のホテル紅や（栗原等社長）は26日、誰もに快適な旅（ユニバーサルツーリズム）の提供を目指した防災訓練を館内で行った。車いす使用者の避難も想定して施設とサービスの整備に注力する中、災害時の避難や緊急時の対応など防災安全面のバリアフリー化も進めている。

防災訓練は年2回の定例で、社内の自主防災隊を中心に行っている。今回は大地震が起き、客室から出火もした想定で消火作業と宿泊客の避難誘導をし、新入社員を中心に消火器の使い方も実践した。

車いす使用を考慮した訓練は初めてで、客室からの避難を補助し、緊急時対応のエレベーターを使って屋外まで誘導した。福祉事業者ユニバーサルサポートすわの牛山玲子さんをアドバイザーに迎えてホテルが近く導入する車いすのけん引装置も体験し、避難誘導時に有効な補助用具の活用を学んだ。

同ホテルではこれまでに社員対象の手話研修会を開いたり、聴覚障がい者に緊急事態を伝えるパトライトを配備したりして、社員提案を採り入れながら課題解決に取り組んでいる。

清水孝弘ホテル事業部長は「能登半島地震で被災した和倉温泉ではお客様を完璧に避難させたという。いかに日ごろの訓練が大切かを物語っている」と社員の気持ちを引き締め、栗原社長は「お客様を守る危機管理の強化は施設面の受け皿づくりと等しく重要。さまざまな状況に想像力を働かせて訓練を重ね、安全確保の改善につなげたい」と話していた。（日比野真由美）



車いす使用者の避難を想定して誘導訓練をする社員



みんなで学ぶ
みんなで備える

もしもの時も、
誰もが安心して避難できる地域をめざして

諏訪のまちで
みんなとつながる
安心の未来

逃げるバリアフリー

知る
備える

支え合う
助け合う

一緒に
逃げる

～ 災害が起きたときの要援護者への緊急時の対応 ～

高齢者や障がいのある方、誰もが安心して暮らし、
そして安心して旅を楽しめる地域づくりのために。
災害時の避難対応や支援のあり方を学び
みんなで考えるセミナーを開催します。



日時 令和8年12月9日(水)
13:30 ～ 16:00 (受付 13:00～)

会場 上諏訪温泉ホテル紅や
長野県諏訪市湖岸通り2-7-21

定員 会場 100名(先着順)

対象 観光関係者・宿泊施設・観光協会
市町村関係者・一般市民 など

参加費 無料

こんなことが学べます

- 災害時に命を守る避難の考え方
- 高齢者・障がいのある方への支援方法
- 観光地・宿泊施設での具体的な対応
- 「できない」ではなく「どうすればできるか」という視点
- 日頃からできる備えと地域のつながり

講師



親川 修 氏

【主な役職】
- 国立大学法人琉球大学地域創造学部 非常勤講師
- NPO法人沖縄県障がい者スポーツ協会 理事長
- 沖縄市社会福祉協議会 副会長
- 沖縄県福祉のまちづくり審議会 会長
- 沖縄観光DX 推進機構 理事
- 沖縄公園等バリアフリー化推進協議会 事務局長

【プロフィール】
- 沖縄県内に障がい児・者の支援施設等6施設を運営。
- 那覇空港(国内線・国際線・バスターミナル)や福岡空港で「障がい者・高齢者観光案内所」を運営。
- 「安心と安全は平等に」をテーマに「逃げるバリアフリー」の実証実験やマニュアル整備支援等、旅行時の"出口のバリアフリー"を推進。
- 「逃げるバリアフリー」の提唱者として全国各地で講演。

【主な受賞歴】
- 平成26年度 国土交通省バリアフリー化推進功労者 大臣表彰
- 令和元年度 内閣府バリアフリ 推進功労者 等身大臣表彰
- 令和元年度 共同過儀社地域再生大賞 優秀賞
- 令和2年度 地域貢献変は部団 社会貢献者表彰
- 令和3年度 観光庁長官賞 等 受賞

誰もが安心して
出かけられる社会を
一緒に考えましょう

講師



中村 敏 氏

- 武雄アジア大学 客員教員
- 長崎県新上五島町 観光物産大使
- 一般社団法人おかやまユニバーサルツーリズムセンター 理事

主な資格
国内旅行業務取扱管理者・介護福祉士・防災士

プロフィール
1987年 大阪府箕面市出身。大阪市立大学大学院修士(都市政策)。旅行業界と福祉業界に従事後、芸術文化観光専門職大学(助教)、山陽学園大学(講師)を経て現職。
旅行と福祉の2つの実務経験と国家資格を持つ国内唯一の大学教員として、超高齢社会におけるユニバーサルツーリズムの推進を研究。
観光と防災の両輪で、誰にでもやさしい地域づくりをめざしています。

観光と防災の両輪で
誰にでもやさしい
地域をつくりましょう

学びを
地域の力に!

諏訪の温泉とやさしさで
誰もが安心して過ごせるまちへ

つながる ひろがる
安心の未来

ユニバーサル・サポートすわ

主催 | ユニバーサルサポートすわ
代表 牛山 玲子

ともに学び
ともに備え
みんなでつくる やさしい諏訪

「逃げるバリアフリー」の重要性とは?

災害が起きたとき、障がいのある人も、
高齢者も、子どもも、誰もが安心して
避難できる地域をつくること。
それが「逃げるバリアフリー」の
大切な考え方です。



特に、観光地では土地勘のない旅行者も多く、
災害時に支援を必要とする人が取り残されないための備えが重要です。

なぜ「逃げるバリアフリー」が必要なの?

1 誰もが安全に避難できるため



車いす利用者、歩行が難しい高齢者、視覚・聴覚障がいのある人など、それぞれに合った避難方法や情報提供が必要です。

2 地域で助け合える関係をつくるため



行政、宿泊施設、観光事業者、医療・介護・福祉関係者、地域住民が普段からつながることが大切です。

3 災害が起きる前から備えるため



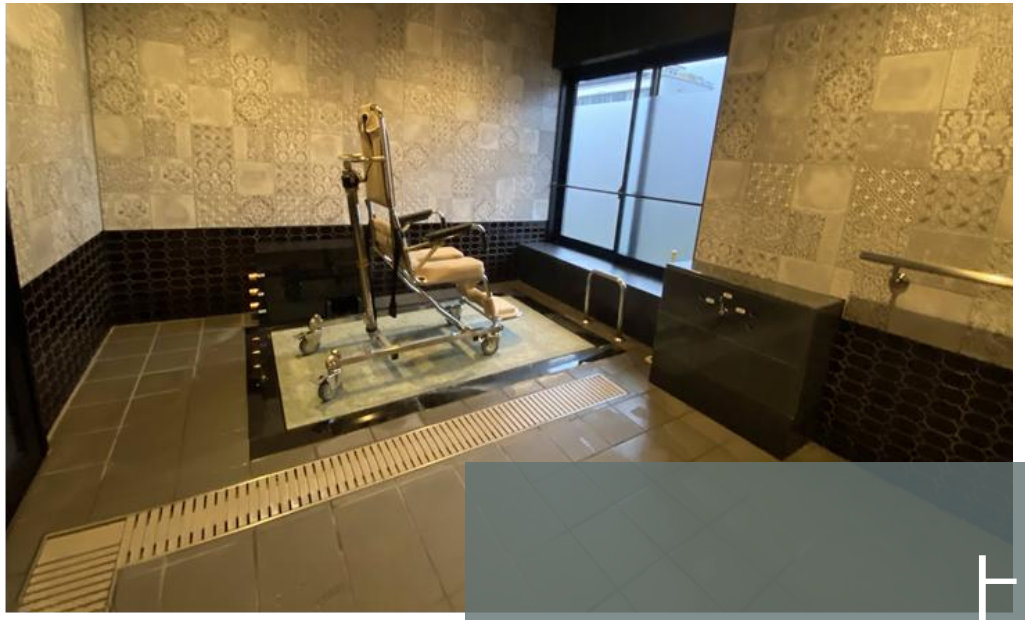
避難経路の確認、避難訓練、必要な支援の把握など、日頃の準備が命を守ることにつながります。

4 心のバリアフリーを広げるため



「何かお手伝いできることはありますか?」と声をかけ、相手の希望を確認しながら行動できる地域を目指します。









上諏訪
バリアフリー温泉

温泉旅行をあきらめない

上諏訪温泉 ゆ 下諏訪温泉
諏訪エリア

諏訪エリアの旅館の温泉で**入浴介助サービス**が受けられます。



入浴介助サポーターは安心・安全の2名で対応

体力や運動機能が低下して介護が必要になったご高齢者と一緒に、温泉旅行を楽しみたい。
老舗温泉旅館が提供する温泉と観光や諏訪大社などを楽しめる温泉旅にご両親と泊まりたい。
そのような想いに応えるため、介護の専門家が入浴介助をサポートします。
ご家族の負担を減らせ、気軽に温泉旅行に出掛けられます。是非、諏訪エリアをご旅行の際にお申し込みください。

温泉入浴介助サービス	1名 60分	16,500(税込)円より

お問い合わせ
090-3558-4502
yunisaposuwa@gmail.com

ユニバーサル・サポートすわ

入浴介助サービス利用上のご注意



- **入浴介助サポーターの人数は原則として2名です。**
  体重や身体機能等の理由でサポーター人数を増員する場合があります。
  増員が必要な場合、追加料金が発生します。
- **諏訪エリア全ての旅館・ホテルでサービス提供可能ではありません。**
  必ず事前に下記連絡先までご相談ください。
- **普段の体調や介護の様子等、事前に書面のやりとりを行います。**
  安全な入浴の為、書面のやりとりができない場合はサービスを利用できません。
- **サポーターは事前にお申し込みいただいたお客様の入浴に関する介助のみを行います。**
  それ以外のサービスの提供は適用外となります。
- **入浴前に、体温や血圧等のチェックを行います。**
- **上記のチェックにおいて、当日の入浴が危険が伴うとサポーターが判断した場合、入浴の介助をお断りする場合がございます。**
- **キャンセルは前日までにお願い致します。**
  当日キャンセルの場合、金額の100%をご負担いただきます。
- **サポーター人員の都合により、お客様の希望の日時に沿えない場合もあります。**

入浴介助には様々な事前情報及び準備が必要です。
ご入浴・ご旅行予定日1ヶ月前までを目安にお申し込みください。



上諏訪温泉・下諏訪温泉は介助が必要な方でも安心して温泉が楽しめる温泉街を目指しています。

連絡先 ユニバーサル・サポートすわ
〒391-0011 長野県茅野市玉川11048-1
E-mail：yunisaposuwa@gmail.com
携帯電話：090-3558-4502 FAX：0266-79-5562

ユニバーサル・サポートすわ 利用実績表

「行ける場所」ではなく、「行きたい場所へ行ける」社会をつくる



誰もが安心して
お出かけできる
地域へ

観光・外出同行サポート
一緒に出かけて、
楽しい時間を

温泉入浴介助
あきらめていた温泉を、
再び

年度	観光・外出同行サポート	温泉入浴介助	合計
2021年	128	52	180
2022年	205	104	309
2023年	96	120	216
2024年	173	126	299
2025年	116	88	204
5年間の合計	718	490	1208
平均	143.6	98	241.6





支え合いで
広がるみんなの笑顔

観光・外出同行サポート



- 観光地の散策
- 宿泊・飲食店の利用支援
- 移動の付き添い など



温泉入浴介助

- 身体状況に合わせた入浴介助
- 安心・安全な入浴の支援
- 温泉を楽しむ機会の提供

諏訪の国

諏訪の国
認 定

諏訪の国ブランド 認定商品










「温泉入浴介助『湯にばーさる』」

諏訪の国だからこそのおもてなし

諏訪の国

OKAYA CITY. SUWA CITY. CHINO CITY.
SHIMOSUWA TOWN. FUJIMI TOWN. HARA VILLAGE.

認　定

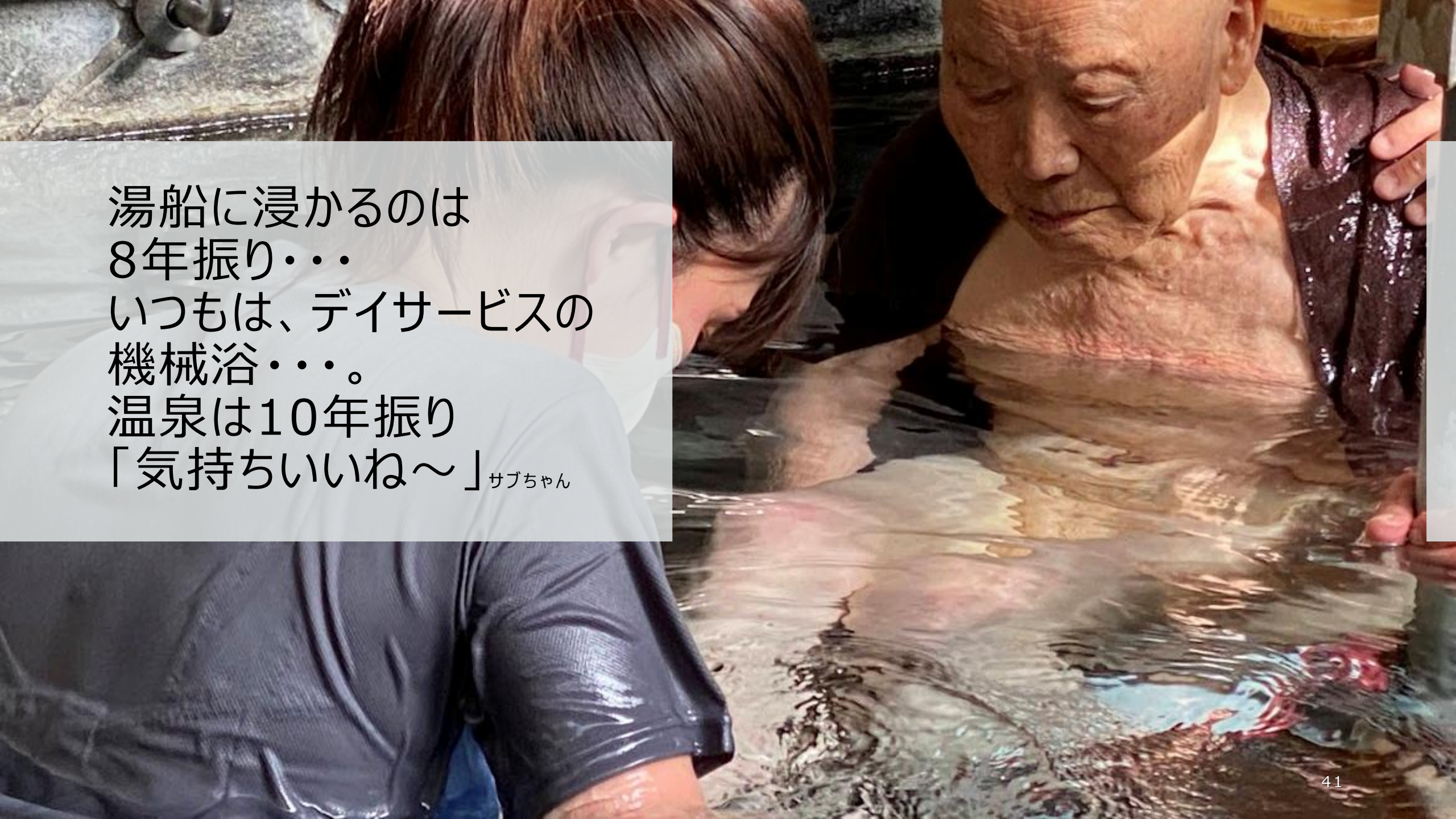





ユニサポすわの「おもてなしケア」





湯船に浸かるのは
8年振り・・・
いつもは、デイサービスの
機械浴・・・。
温泉は10年振り
「気持ちいいね～」サブちゃん

白寿のお祝　４世代　３８名大集合































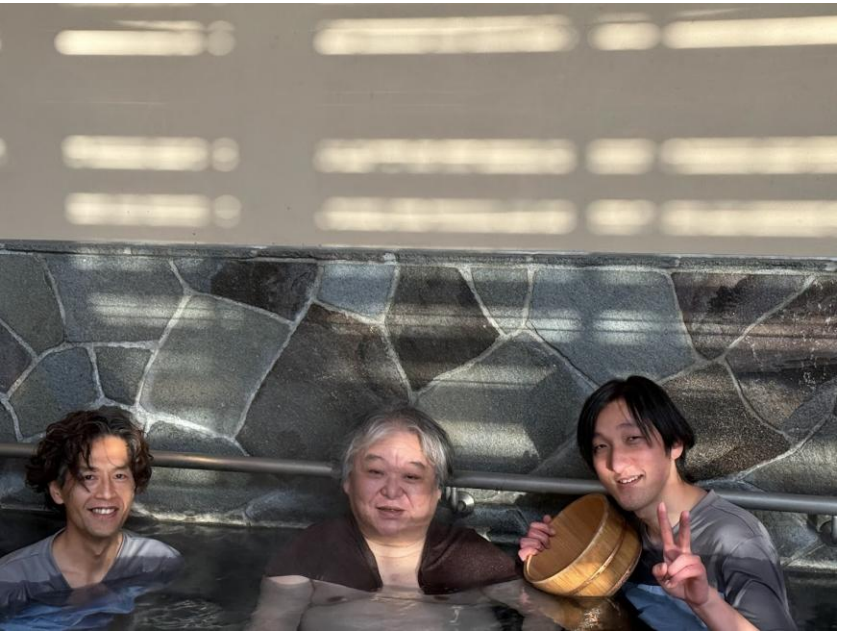









































































ユニバーサルウエディング

お問い合わせが急上昇うれし涙を

たくさん見せていただいています

夢をかなえるのに制限はありません

特別なことこそ自由に楽しみたい









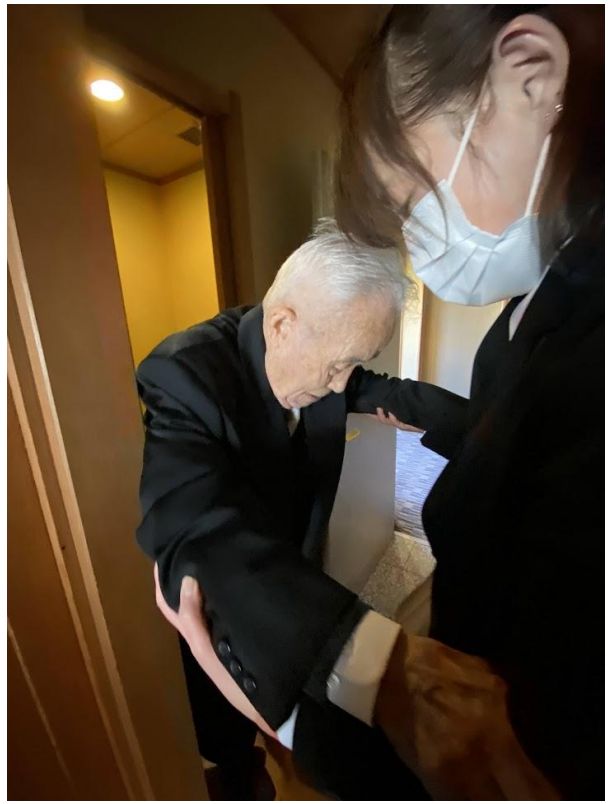


ユニバーサル結婚式


























福祉輸送車両 限定
みよし家介護サービス







幸せな門出 障害にかかわらず

車いす利用女性 下諏訪などでユニバーサル結婚式

茅野の市民団体がサポート



記念撮影をするねむりさくらさん夫婦

高齢者や障害者の外出支援に取り組む市民団体「ユニバーサル・サポートすわ」（茅野市）などは13日、障害の有無にかかわらず誰もが参加できるユニバーサルウエディング（結婚式）を下諏訪町などで実施した。車いす利用者の女性の夫婦1組が、看護師や介護福祉士のサポートを受けながら式を挙げた。

式を挙げたのは車いす利用者で、動画投稿サイト「ユーチューブ」で「車いすに乗った状態でも着付けができる着付師2人も呼ぶ」という名称で活動する女性（26）の夫婦。和装での式を希望する夫婦側の要望を踏まえ、普段の生活では車いすや指先や下半身にまひがあり、つえを使っているねむりさくらさん。ユーチューブで日常生活や旅先での様子などの動画を投稿し、日々の暮らしぶりや現地のバリアフリーの取り組みを紹介している。

この日は、諏訪市の「ホテル鷺乃湯」に滞在し、下諏訪町内の神社で式を挙げた。新郎（42）は「バリアフリーがないと（式場の）選択肢にも入らないと思っていた。2人では挙げられない場所で結婚式ができた」。ねむりさくらさんは「新しい生活が始まる実感が湧いた。今までサポートしてくれた人への感謝を表現できた」と喜んだ。

市民団体代表の牛山絵子さん（61）は「幸せな空気に関われてうれしい」。式のプランを共同で企画したKNT-CTホールディングス（東京）社長室の大喜多洋部長（54）はユニバーサルウエディングの事業化も構想しているとし「日本の旅行会社はここまでやると示して海外需要も取り込みたい」と話した。

2023年12月14日　信濃毎日新聞











長野日報　第40521号　統合

諏訪でユニバーサルウエディング

充実の支援体制で推進

伝統文化、観光資源、バリアフリー

「結婚式を諦めなくて本当に良かった」

長野日報
Nagano Nippo
ご購読ありがとうございます
12月19日（火）
発行所　長野日報社
〒392-8611　諏訪市高島3　☎0266-52-2000㈹
©長野日報社2023





ドン、バン、ズン。五感に響く。

諏訪湖の花火

2026年(令和8年) 9月7日(月) 第20965号 [日刊] 昭和47年3月14日第3種郵便物認可

諏訪市民新聞
発行所
〒392-0022 諏訪市高島2
諏訪市民新聞社
電話 代表52-3400
FAX 57-0117
www.shimin.co.jp
E-mail suwa@shimin.co.jp
©諏訪市民新聞社 2026年
定価1カ月2,000円
(1部売り90円)(税込み)
本紙をお届けする販売店
諏訪営業店 ☎52-1107
諏訪センター営業部 ☎27-3883
□茅野地区□
信濃毎日新聞茅野部 ☎72-4198
コンビニでもご利用ください。

若手煙火師が腕競う

毎週土曜日 20人が技術とアイデア披露

「新作花火チャレンジカップ」始まる


来場者を魅了した若手煙火師による新作花火

若手煙火師20人が競い合う「全国新作花火チャレンジカップ2026」が5日夜、諏訪市の諏訪湖畔で開幕した。全国的に珍しい勝ち抜き戦方式の競技花火大会で、26日まで開催十週目に予選会を実施。煙火師の技術と光るアイデアを掛け合わせ、打ち上げ花火の楽しさや美しさを伝える。

昨年度、従来の全国新作花火競技大会からリニューアルした大会。これまでは10都県の若手煙火師が出場し、3号玉5発の計1発の新作玉を打ち上げ、色彩や形状、全体の構成美などを総合的に審査されていた。

今年度は、テーマは「色彩が優れ、華麗であること」。それぞれ煙火師は7号玉1発、4号玉5発、3号玉5発の計1発の新作玉を打ち上げ、色の組み合わせや発色の美しさや魅力を知ってもらうことで、未来に向けた花火文化の継承につなげるという。

次回予選会は12日(土)午後8時から行う。観覧無料。小雨決行。これからの日程などは諏訪観光協会ホームページ内にある特設サイトで案内していく。

車椅子でも大輪間近に

高齢者や障害者へ観覧席用意

予選会初日の5日、スポンサーとなった諏訪温泉旅館組合はユニバーサル・サポートすわ(牛山玲子代表)と連携し、高齢者や障害のある人でも花火を楽しめる観覧席を用意した。諏訪地域内外から家族を含めて約80人を招待し、諏訪湖の花火の迫力を間近で感じてもらった。

観覧席の用意は2年目。障害の有無や年齢にかかわらず旅行を楽しめる「ユニバーサルツーリズム」の一環で、スポンサー席を高齢者や障害のある人に提供し、野外音楽堂前へ車椅子用スペースを設けた。


花火を鑑賞する県花田支援学校の卒業生ら

「諏訪に住んでいても、歩くのが大変だったり、外出を諦めたりしていて、花火を見たことのない人も多い」と牛山代表。車椅子で訪れた人たちは「人生で初めて花火を見て誤が出そう」「花火って大きかったんだ」と、夜空に浮かぶ大輪の花を見上げていた。

次回12日(土)も席を用意し、高齢者や障害のある人、付き添いの家族などを招待しているという。

15日から大聖歓喜天秘法

絽隆寺が祈とう受け付け

諏訪市四賀桑原、仏法絽隆寺(岩崎宥全住職)は15日(火)から21日(月=祝日)までの7日間、大聖歓喜天秘法修法を行う。

7日間の秘法修は、15日午後6時に入堂。16日(火)以降は水で沐浴し精進潔斎し、20日(土)までは1日3回(午前3時、午前10時、午後4時)、21日は午前、午後の2回、各2時間前後、聖天様に献した油を掛け流す浴油供などで、諸願成就を一心に祈る。期間中は大根を主にした食事をし、葬儀や法事にかかわらず、境内から一切出ない生活を過ごす。昨年は全国各地から150人、400件を超す申し込みを受せは同寺(電0266・52・2541)へ。


大聖歓喜天秘法を行う聖天堂内

コロナ禍の2022年から始めた動画配信も共有サイト「ユーチューブ」で行う。祈とう中は五色幕を下ろすため、配信では映像を見ることができないが、音声や影などを通じて雰囲気を伝える。5千件の視聴があり、画面に合わせて毎回拝んでいるとの報告もあったという。

祈とう希望者は15日の祈とう開始前までに申し込む。一般祈とう3千円、特別祈とう5千円。

同寺の聖天様は、諏訪高島藩の歴代藩主が守護仏として尊崇し、高島城内の御堂に祭られた。四代藩主の忠虎が1721(享保6)年、同寺境内西隅に御堂を建て、秘尊を移し、藩主が自らが御堂を詣でたという。藩祈とう寺の縁で、藩解体時には藩主に関わる品々が同寺へ移転。聖天堂内にも高島城の守り神とされた、鏡の中に彫られた「鏡宅霊符神」が大切に保管される。厨子(ずし)に入れられた鏡の板には、9代藩主忠誠が奇進した旨の

時計 メガネ
アキヤマ
☎52-0788(休定休)
諏訪市末広1-5

ゆめひろで11日「まちづくり塾」

みんなの居場所ゆめひろ(諏訪市末広)で11日(金)午後7時から「ゆめひろ・諏訪まちづくり塾」が開かれる。都市プランナーで建築家の倉田直道工学院大学名誉教授を塾長に迎え、中心市街地のまちづくりを考える。

問い合わせは、ゆめひろ(電0266・55・8734)へ。



間近に大輪 感動体験

新作花火 車椅子用の観覧席用意

諏訪湖温泉旅館組合は、諏訪市の諏訪湖畔で行われている「全国新作花火チャレンジカップ2026」予選会2日目の12日、車椅子用の観覧席を用意した。車椅子に乗って来場した人たちが打ち上げ花火を間近で観覧。初めての体験に感動し「いい思い出になった」と喜ぶ声が聞かれた。

同組合がスポンサー席を提供する2年目の取り組み。車椅子に乗ったまま湖に一番近づける野外音楽堂横を専用スペースとし、ユニバーサル・サポートすわ（牛山玲子代表）を通して高齢者や障がいのある人たちを招いた。予選会初日の5日にも席を提供しており、2日間で家族を含む約120人が利用した。

この日は5人が車椅子に乗ったまま観覧した。県花田支援学校の卒業生3人は近くに並んで夜空を見上げ、次々と打ち上がる花火を満喫。「友達と一緒に見られてうれしい」「こんなに近くで見たのは初めて」「とてもきれい。花火師さんってすごい」などと感動した様子だった。（丸山智永）



諏訪湖温泉旅館組合

湖岸近くに設けられた車椅子用のスペースで、打ち上げ花火を楽しむ県花田支援学校の卒業生と家族たち



ご清聴
ありがとうございました

ユニバーサル・サポートすわ

yunisaposuwa@gmail.com

https://www.facebook.com/yunisaposuwa

